



森ポラ 通信

第129号 2013年2月20日発行
 NPO法人北海道森林ボランティア協会
 URL <http://www.shinrin-npo.info/>
 札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F
 Tel. (fax.): (011) 816 - 7010
 E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 地元産広葉樹の直播じかまき(1月号続編)

広葉樹再生への革新的アプローチ[An innovative approach to hardwood regeneration]

種を播くことによる広葉樹の成立は比較的新しい手法であり、伝統的な稚樹植栽に対していくつか利点がある。

種蒔きの密度 林地によるが以下の樹種と比率が一般に勧められている。特殊なプロジェクト用に必

	Species 樹種	Species 樹種	Pounds Per Acre (ポンドあたり/畝)
1 to 2	Black Cherry	Red Oak	1/4 to 1/2 pound
1/4 to 1	Hackberry	White Oak	1/4 to 1/2 pound
1/2 to 1	Kentucky Coffee Tree	Bur Oak	5 to 10 pounds
10 to 20		Black Walnut	
1/4 to 1/2	SHRUBS:灌木	Shagbark Hickory (within its range)	
1/4 to 1/2	Grey or Redosier Dogwood	Swamp White Oak (lowland sites)	1/4 pound
1/4 to 1	Highbush Cranberry	Ash (green, white, black)	1/4 pound
1/4 to 1/2	Choke Cherry	Sugar Maple	1/4 pound
	Wild Plum		1/4 pound

(注: 1ブッシュェル=約35リットル、1ポンド=454g)

要とされる場合は担当の森林官が樹種と密度を調節してくれる。

種蒔き 大きな種——ドングリ、ウオールナッツ、ヒッコリー、ナッツは代表例として林地全体に肥料散布機でばらまきし1インチか2インチ深さにデスク掛けする。軽い種は…アッシュ、メープル、サクラ(と、もし灌木を播くなら)は、ばら撒きしてから軽く馬鍬でならす。

雑草対策 どんな直播プロジェクトであれ成功させるには、稚樹が“樹冠閉鎖”(通常3年以内に來ることが多い)に達するまで芝と雑草対策が重要である。雑草対策をしないと稚樹は湿気と日光で競争に負けてしまう。通常、種蒔き前か後使用の緊急除草剤が最初のシーズンの早い時期か種蒔き後の初年度に使われる。もし幅広の葉の雑草が初年度に問題になったら稚樹の頂点より高い高さで全面を草刈りする。前使用か後使用の除草剤を2年目に使う必要がある。林地は雑草対策が必要かどうか時々偵察する必要がある。詳細な除草剤の推奨については地区森林官にコンタクトください。

灌木 多くの林地は多様性と動物の棲家として幾つかの下層灌木を追加することでより有益になる。ミネソタでは広く Grey and redosier dogwood, chokecherry, highbush cranberry, wild plum, nannyberry, blackberry elder, and American and beaked hazel が一般的な灌木種である。地区森林官がどの種が林地に合うか知っている。直播における灌木は比較的経験が少なく、もっと一般的になるまで種の取り扱い問題と除草剤によるダメージによる失敗にさらされる。灌木の追加はまた費用の上昇にもなる。広葉樹の木を直播で成立させることは比較的新しい方法で伝統的な稚樹を植栽するよりいくつかの利点がある。(訳・酒井)

(注: 原文は下記にアクセスください) © 2012 Minnesota Department of Natural Resources

2013年1月24日・今月のセミナー報告

◆ ～クマと人とのかかわりについて～

札幌市北方自然教育園 大坂 義臣氏

今回は一昨年・昨年と札幌市街地にも出没して話題となっている「ヒグマ」について、札幌市内のヒグマ騒動に関わり、またハンターとしての免許も有し活動されている大坂氏にお話をお願いし

た。

大坂氏の故郷は知床に近い斜里町、80年代はエゾシカもヒグマも1年に1回見ることができる程度であったのが、90年代になると頻繁に見られる様になってきた。そこで、もっと野生生物について知りたいと思い今の仕事に関わるようになり、またハンターの世界にも関わるようになってきたとのこと。大坂氏は30歳代であるがハンターの80%以上が50歳以上であり、ここでも高齢化が進んでいるとのこと。

ここから本論である「ヒグマ」の話に入り、まずは<クマの暮らしと体>について話された。ヒグマはユーラシア大陸の広範囲の地域および北米北西部に生息、日本では北海道にだけ生息し、広く活動するが、雄は特に行動範囲が広く、また順応性の高い動物である。

ヒグマの1年の暮らしは、

冬：冬眠期・出産期、

春：活動期、

夏：初夏は交尾の季節・1才半となった仔グマの親離れもこの季節、

秋：冬眠準備期・妊娠する為にも充分栄養を取ることが必要。

ヒグマは冬眠中に出産するが 新生子はペットボトルくらいの大きさで 400g位の体重で生まれ、冬眠中に授乳して大きくなり冬眠明けで巣穴から出る頃には3kg位に大きくなっている。この間、母親は全く飲まず食わずで、排泄もしない。冬眠した巣穴はキレイとのこと。春にはフキノトウやセリ科の草本類を食べ、夏にはオオウバユリの根やオオハナウドの茎などを食べるが、秋のドングリやコクワ・ブドウなどが実るまでの8・9月頃の端境期は農業被害が出やすい時期であり、人間のエリアに現れる。

春クマ猟を止めてから駆除頭数は減っていたのであるが、ここ数年増えており 2011年度は全道で825頭、2012年度は12月までで567頭と非常に多くなっている。生息数の実態が充分把握出来ているのであろうか危惧される。

まとめ キムンカムイとウエンカムイがいる。

クマをおそれることが大事 : ・恐れる ・怖れる ・畏れる

(文・荻田)



■ 活動報告

◆ 活動報告・「クマゲラ」澄川に現れる

1月22日の活動日、この日、作業道を歩いているとキョーン・キョーンというクマゲラ独特の鳴き声が聞こえてきました。しばし立ち止まっていると一羽のクマゲラが私のいる場所から小



さな沢を隔てた20m程向こう側のシラカンバの木の根元に止まりました。そのシラカンバは上部が折れて無くなり、もう枯れかかっている状態です。あの鋭い嘴で一所懸命シラカンバに穴を開け、どうやら餌を取っているようです。



15分位この作業をした後、次に近くにあった樹木の上の方に移りました。このカラマツも樹皮が裂け、枯れかかっています。この様

に見てくると頭部が折れてしまった木や枯れかかった木もその役割は当然あることであり、無闇に伐採するのも考えものです。私は藻岩山、旭山公園でクマゲラを見たことがあります。今回のクマゲラは何処から来たのでしょうか、何れにしても彼らが棲みやすい森林環境をこれからも維持していくことが大事なことと思います。澄川都市環境林にもっと頻繁にこれら多くの鳥達が訪れてくれるような森作りを進めて行きたいものです。（文・荻田）

■ お知らせ

◆ 平成 24 年度 CGC の森活動報告

北海道 CGC の森と今年度新たスタートした烏柵舞の森の 24 年度の活動報告をいたします。

北海道 CGC の森：6 月、8 月に 8 日間かけて下草刈りと枯死苗調査を行いました。下草刈りは育林に大切な作業で毎年雑草が繁茂する前のこの時期に刈ると効果的です。苗木が雑草の高さに負けないぐらいに成長するまで続けられます。今年度も 8 回の下草刈りは刈り払い機と手鎌の両面でやり遂げましたが、マンパワーの必要性を痛感しました。

活着状況ではトドマツは順調に成長していますが、広葉樹の活着状態が悪く 6 月の調査では 3,658 本中枯死本数は 1,386 本その率は 38%強と高く、8 月に 674 本の広葉樹を補植しましたが、来春には樹種の選定を含めて列内の針広混植の検討が必要と考えます。

CGC 烏柵舞の森：千歳市に隣接した 22.72ha の 5334 林班は 20 小班に区分され、4 月には 18 小班が機械による地拵えを終え、残り 2 小班は協

会員自身の手で地拵えをしながら自然発生生木を生かした森づくりを目指しますが今年度はスケジュールが混み合い来年度から施業を予定しています。

5 月の毎木調査では母樹となる樹木は 1,411 本、樹種は 30 種で、天然更新が期待されます。また 1m に未たない無数のシラカンバもパイオニア樹種として台風被害地が

元の森林に戻るのに貢献して呉れるでしょう。また市街地に近いせいから外来種のセイタカアワダチソウ、オオハンゴウンソウが目立ち今後その対処には苦労しそうです。

今年度の植栽作業は CGC ジャパン関連の植樹祭が 3 回、オイス

カ・ユネスコ共同の植樹祭が 1 回、協会の植栽作業が 2 回、計 6 回の植栽が行なわれました。

北海道 CGC の森でも試みましたがこの植栽地に生えている木と同じ種類の種子を集めて、役目を終えた作業道に試験的に広葉樹の直播を施し発芽状況を観察して行きます。

種の直播試験は 10 月 18 日にミズナラ 7,020 個、10 月 27 日に各種広葉樹の種 9,726 個を列条に播いて来年の発芽が待たれます。（文・事務局）

《月別に見た烏柵舞の森樹種別の植栽本数》

	アカエゾ	ミズナラ	ハルニレ	ヤチダモ	計
5 月	1,585	485	498		2,568
6 月	201				201
7 月	50				50
8 月	50				50
10 月	1,974	595		599	3,168
計	3,860	1,080	498	599	6,037

《活動内容》

作業期間	場所	作業内容	日数	参加人数
4 月	烏柵舞の森	残雪調査	1	1
5 月	烏柵舞の森	毎木調査	2	33
5 月・10 月	アイケンの森	広葉樹用指標竹の採取	3	26
5 月・10 月	烏柵舞の森	協会の植栽・オイスカ・ユネスコ植樹祭	5	75
6 月・8 月	北海道 CGC の森	下草刈り・広葉樹の枯死苗調査と補植	8	118
6 月・8 月・9 月	烏柵舞の森	CGC ジャパン関連植樹祭	4	44
合計			23	297

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・酒井・佐野・高野・津金・釣井・西野(榎)・矢澤・和田

審議および決定事項

1. 安全対策について・・・森林の安全対策マニュアル(案)の徹底を図るため3月26日(火) 14:00～14:45 講習会をやります(冬期セミナーの前)。
2. 25年3月、4月スケジュール・・・幹事会3月12日(火)。
3. 作業日誌、野帳について・・・ドラフト作成。澄川の活動日に記帳しながら改良して行く。
4. 25年度CGCの森、野幌森林公園の活動計画の刷り合せ事項報告・・・
 - ①北海道CGCの森5月の補植はトドマツ300本程度を予定。
 - ②烏柵舞の森の植栽樹種については昨年度の活着状態を見て判断して行く(管理署同行)。
 - ③野幌森林公園5年間の協定契約延長・・・ツル切りを含めて育林管理と生育調査。
5. 烏柵舞の森植栽について・・・植栽記録の充実を図り育林管理に生かして行く和田さんから「CGC 烏柵舞の森」の植生についての一考発表。
6. 協会研修旅行対応状況・・・10月2日(水)～4日(金)足寄町の九大北海道演習林の見学決定。詳細は3月号でお知らせします。
7. 北海道山林種苗組合から苗木提供の件・・・ミズナラ(200本)、ハルニレ(200本) コブシ(100本)、ヤチダモ(200本)を要望。
8. 委員会報告
 - 広報委員会・HPのトップページの更新。 業務委員会・年間活動の確認。
 - 助成委員会・生物多様性サポロビジョンの申請。
 - 研修・企画・北大苫小牧演習林見学(5月29日(水))。
9. 会計報告・・・1月までの会計報告。
10. その他・・・イタヤカエデ、シラカバ樹液作り・・・日程確保。
 - ・北海道森と緑の会への古本で募金に協力・・・詳しい案内は4頁の末尾に案内。
 - ・野幌森林再生活動連絡会出席の件・・・2/13 江別公民館・市山出席。
 - ・石狩管理署“ボランティア連絡会”・・・3/1 石狩管理署・酒井、荻田出席。

■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月18日(金)	澄川	3	林内整理・間伐
1月22日(火)	澄川	15	林内整理・間伐
1月24日(木)	リンケージ(冬期セミナー)	23	大坂義臣氏(札幌市北方自然教育園)
1月29日(火)	澄川	10	林内整理・間伐
1月31日(木)	澄川	12	林内整理・間伐
2月5日(火)	澄川	10	林内整理・間伐
2月7日(木)	澄川	7	強風により作業中止
2月8日(金)	ラルズビル	12	定例幹事会
2月12日(火)	澄川	13	林内整理・間伐
2月15日(金)	澄川	12	林内整理・間伐

◆ お問い合わせ…古本で募金

家庭に眠っている古本ありませんか。北海道森と緑の会では古本の有効活用で地域の森づくりを応援しています。当協会としてもこのキャンペーンに参加して「古本で募金」を応援します。

ご家庭に眠っている古本がありましたら、事務局又は澄川活動地までお持ち下さい。事務局が預かり一括してブックオフへ。その売り上げは緑と森の会に寄付として扱われます。ご協力宜しくお願いします。ご不明な点は事務局市山まで。